

事業報告書

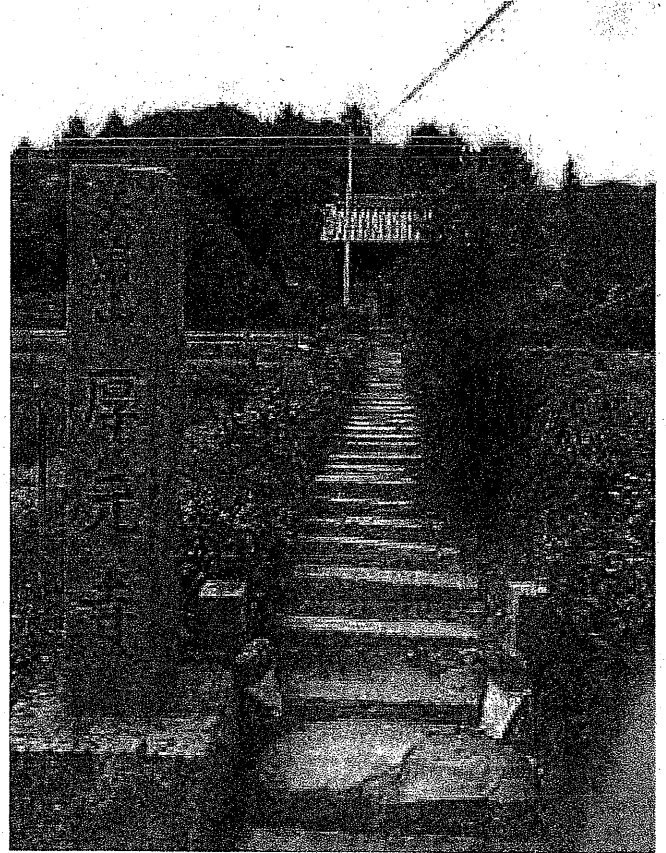
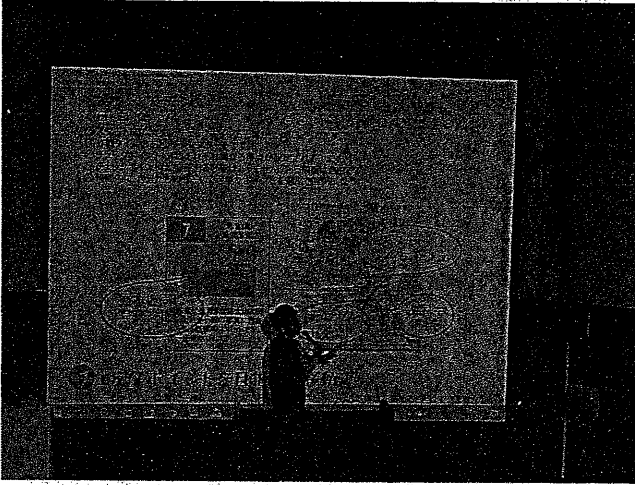
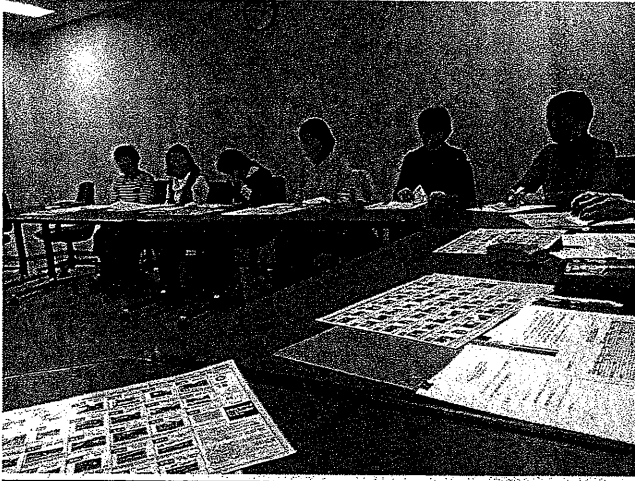
団体名： 亀岡フォトロゲイニング実行委員会

1. メニュー名	(1) スタート事業 該当するメニューを○で囲んでください (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	亀岡フォトロゲイニングコースづくりと映像編集
3. 実施場所	亀岡市内 京都学園大学を中心とした 5km×7km の範囲
4. 実施期間	平成 30 年 4 月 20 日 (金) ～ 平成 31 年 3 月 30 日 (土)
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。
<p>亀岡市で、最も大きな地域課題は、(1) 高齢者の健康問題と役割の創造、(2) 少子化による人口減、(3) 経済の発展、(4) 観光資源開発ということである。最近は多くの人が携帯でコミュニケーションを行っている。メールをする、音楽を聴くなど一人の活動が多くなり、グループで目と目を合わせてコミュニケーションをとる機会が減っている。また、視線は携帯と手元にしかなく、自然の世界から離れてしまっている。私達は、京都学園大学の学生が市民と、まず亀岡の魅力を発見しフォトロゲイニングのマップを作り、魅力的なフォトロゲイニングのコースを作る計画である。学生と市民を巻き込みながら、亀岡の魅力を発見し、それをマップに落とし込み、実際に体験してもらって、今年は楽しめるコースづくり、その実際の活動を映像で残し、大学や市の HP などで紹介し、情報発信することで、まずは市民に亀岡の魅力を再発見してもらい、来年以降は大きな大会として開催するための人材育成をしていくことを目的とした。</p>	
6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)
<p>まず、亀岡市の観光部局や商工会議所、観光協会を巻き込んでフォトロゲイニングを理解していただき、今後フォトロゲイニングを観光資源として開発するための理解を得るため、実行委員会を組織した。</p> <p>次にコースづくりについて、京都学園大学の健康医療学部、健康スポーツ学科のレクリエーションを学ぶ学生とフォトロゲイニングの専門家でコースづくりを行うための教育を行った。また、亀岡市の観光ガイドや亀岡市の市民に対して、亀岡の魅力・文化資源などを発見していただくための、プロジェクト活動を立ち上げ、今後フォトロゲイニングの大会を開催したときのサポーター養成の体制づくりを行った。</p> <p>明智光秀の大河ドラマの決定、京都スタジアム完成など、亀岡の観光資源が新たに増える中、それを利用したコースや、四季折々の魅力のあるコースなどを作り、フォトロゲイニングという新しいアクティビティの開発というフォトロゲイニングの魅力を映像にして、完成させた。学生を中心に大会を実施し、関係者にも参加を募って、学生スタッフの養成を行った。</p> <p>今後は 3 時間と 5 時間のコースを完成させ、プレ大会を実施、学生の参加アンケートを基に、さらに改善し、市民を巻き込んで令和元年 11 月 23 日(土・祝)開催のマップ作りを、専門家も交えて、行っていきよていである。概ね計画通りに事業が進み、大きな収穫を得ている。</p>	

7. 成果と課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>6月中にコースを完成させ、7月には100人規模の大会を開催する予定で進め、京都先端科学大学（元京都学園大学）の放送局顧問である近藤晴夫先生とも綿密に打ち合わせて、三宅基子教授のゼミ学生とともに、フォトゲイニングのチェックポイントを発掘した。</p> <p>また、発掘したチェックポイントを基に、写真、歴史的な資料など、pointの魅力が伝えられるコンテンツを集めて、地図を購入し、フォトゲイニングのマップを完成させた。</p> <p>その後、大会を運営し、運動量や感想などを分析し、生涯スポーツとしてのエビデンスについても分析した結果、大変有効であることが実証できた。</p> <p>今年は、2019年度の市民に向けた大会実施のために、サポーター養成、マニュアルなどを完成させて、より大きな大会運営を学生と市民で協働してできるように働きかける計画である。その準備段階としては、ほぼ100%は達成できた。</p> <p>情報発信のための映像も完成し、この映像が、できれば市役所から発信できれば、多くの人々に情報をシェアできるようになり、今後は新聞やラジオ、テレビなどのメディアにもアプローチしていきたいと考えている。</p> <p>次年度はステップアップの支援金を獲得し、11月23日の地図の完成につなげ、亀岡市の観光コンテンツとしたい。</p>	
8. 今後の展開	事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
<p>既に2月26日に市役所でボランティアスタッフである市民サポーターと学生と実行委員会で会議を持った。現在チェックポイントは亀岡市役所を中心とした5km×7kmの範囲で見つけるため、ワーキンググループの方々に説明会を実施し、順次チェックポイントのお宝探しが始まっている。</p> <p>今後は、定期的に会合を持ち、大会準備を進めていく。</p> <p>HPとfacebookを立ち上げて、広報活動も開始している。</p>	
9. 協働の効果	今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。 ※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。
<p>まずは京都学園大学健康スポーツ学科の学生、と早朝体操教室の参加者や、NPO法人元気アップAGEプロジェクトを中心にサポーターを募っている。また亀岡市、亀岡商工会議所、亀岡市観光協会、観光ボランティアの方々などの協力を得ていくため、声をかけているところである。</p>	

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。



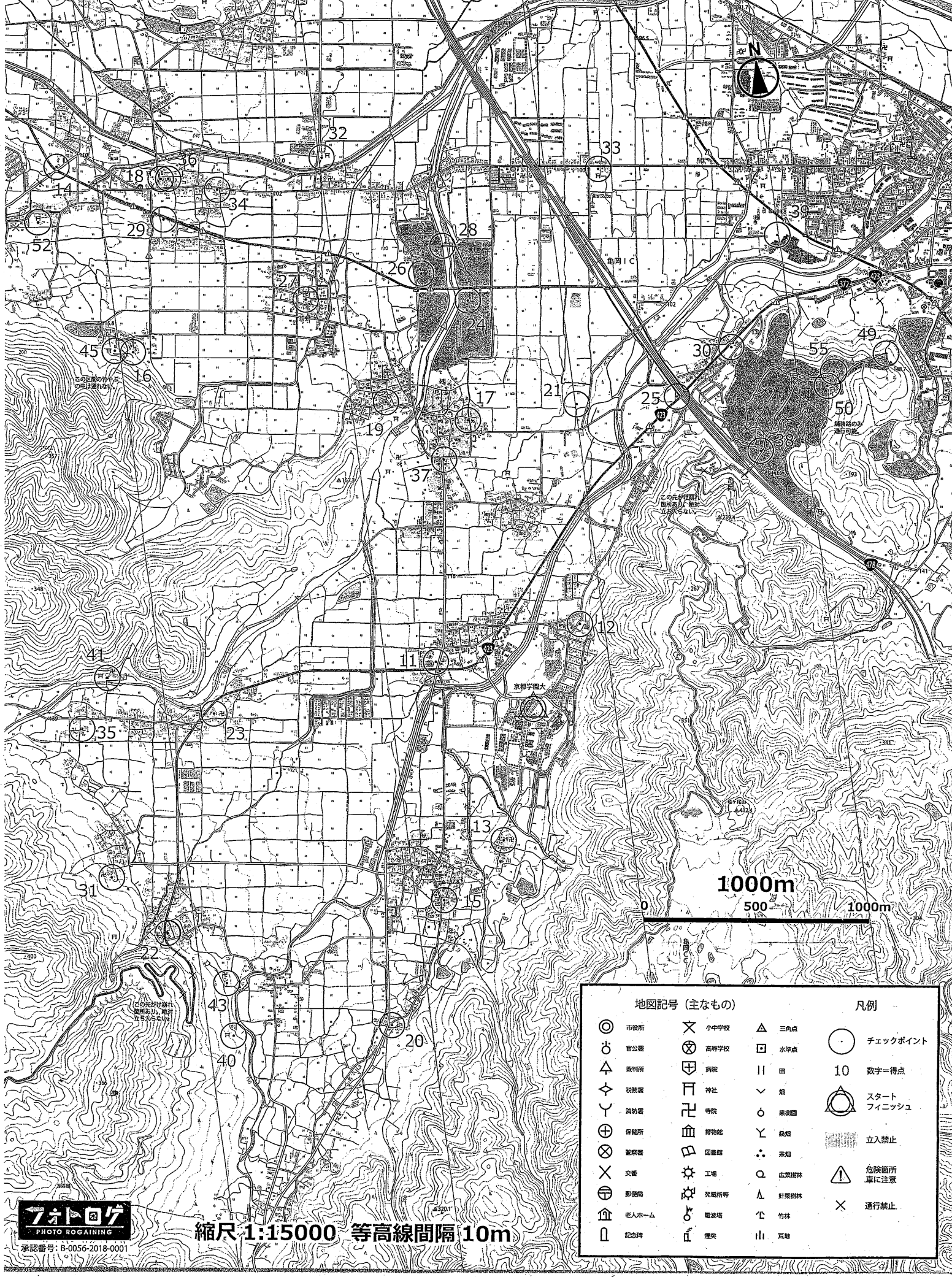
フォトロゲイニング 運営の手引き



2018年1月12日発行 新野重雄・岡田浩平
©一般財団法人日本フォトロゲイニング協会
フォトロゲイニング公式サイト <http://photogrammy.com/>

一般財団法人日本フォトロゲイニング協会

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号:平30情保第348号)



地図記号 (主なもの)			凡例
◎	市役所	△	三角点
⊙	市公署	⊗	水俣点
△	数寄所	⊕	田
◇	税務署	⊖	畑
Y	消防署	⊙	果樹園
⊕	保健所	Y	果樹
⊗	警察署	⋯	索道
X	交差	Q	広葉樹林
⊕	郵便局	△	針葉樹林
⊕	老人ホーム	山	竹林
⊕	記念碑	山	荒地
△	小中学校	○	チェックポイント
⊗	高等学校	10	数字=得点
⊕	病院	⊙	スタート
⊖	神社	⊙	フィニッシュ
⊖	寺院	⚡	立入禁止
⊖	博物館	⚡	危険箇所 車に注意
⊖	図書館	X	通行禁止
⊖	工場		
⊖	発電所等		
⊖	電波塔		
⊖	煙突		

